

京丹波 きらめき通信



第2号

令和4年4月発行
居谷ともゆり
☎090-4760-4342
itanitomonori@gmail.com
ail.com

居谷の つぶやき (ご挨拶)

令和4年のきらめく春を迎えました。進学や就職、職場内での異動、そして退職など、大きく環境の変わった方も多いのではないのでしょうか？最初は何をするにも、人の名前であつたり、何がどこにあるだつたり、当然仕事や勉強の仕方であつたり、覚えることばかりです。かくいう私も半年前はそうでした、いや、今もそうです。私は不器用な人間です。多くの物事を同時進行させたり、人の名前を覚えたりパソコン操作も苦手です。お世辞にも記憶力が優れているとも思えません。議員である以上、ずっと勉強です。しかしながら、大きな壁にぶち当たり、心が折れそうになつたとしても、**自分を支えて頂いた方一人一人を思い出して、初心を忘れなければ、必ずと道は切り開かれるはず**です。新年度にあたり環境が変

わられた方に心からのエールを送ります。共に頑張りましょう！

さて議会では令和4年度第一回定例会が終了しました。私自身2度目の定例会であり、この定例会では議案の柱として令和4年度一般会計予算の審議がありました。また一般質問や賛成討論も行いました。その内容も含めまして、**京丹波きらめき通信第2号**をお届けしますので、ご一読頂けますと幸いです。

活動の記録 (1~3月)

- 1月4日 京丹波町新春互礼会・議会互礼会
 - 1月14日 町消防団初出式
 - 1月19日 議会臨時会
 - 2月15日 新人議員研修
 - 2月17日 第1回役場瑞穂支所移転後の有効活用に関する懇談会 (瑞穂地区議員団)
- *以後、継続開催の予定です。

- 3月1日 令和4年第一回定例会 (会期 22日) 本会議
 - 4・7日 一般質問
 - 5日 西脇隆俊氏を励ます活力ある京都をつくる会 総起大会 (京都国際会館)
 - 9・10日 予算特別委員会
 - 11日 総務産建委員会
 - 11日 教育福祉委員会
 - 11日 たんばこども園内覧会
 - 18日 京丹波町ジュニア世代の学びと提案発表会
 - 同日 活力京都 京丹波の会 設立総会・総決起大会
 - 22日 本会議
- このほか
- ・全員協議会への出席
 - ・毎月1日の和田交差点での辻立ち (朝のご挨拶)
 - ・有志や所属会派・丹心会等の勉強会・研修会への参加
 - ・地域行事や催しへの参加
 - ・消防団活動
 - ・本誌の訪門配布 (2~4月は松山地区)
 - ・ほぼ毎日のフェイスブックの更新 (活動記録や雑感)
 - ・活力京都・京丹波の会事務局としての活動等、積極的な参加や情報発信を行つていきます。また本年度、瑞穂中学校PTA会長として気づきやご意見を京丹波町のよりよい子育て政策に生かして参ります。

第一回定例会にて

第一回定例会の詳細につきましては、次に発行されます「議会だより」を、特に町の予算編成につきましては「広報 京丹波」をぜひご覧下さい。ここでは、私が行いました一般質問に入る前に述べました事を要約し掲載します。

新庁舎に変わり5ヶ月が経過します。大変立派な庁舎であり今でも町内外からの見学者が後を絶ちません。しかし、本当に大切なのは建物でなく中身であり、住民の皆様はよく見ておられます。組織の再編・新設もあります。住民の皆様にしつかりと寄り添い、分かりやすく親しみと誇りを持って頂けるよう、職員の皆様で切磋琢磨と一致団結し、それが本当の意味での新庁舎への生まれ変わりであり、ランドマークとしての存在意義だと思えます。また議会もその役割を果たすところは大きく、活発な議会運営を通じて、その一翼を担つて参ります。

居谷のフェイスブックは下のQRコードを読み込んでください。お友達申請大歓迎です！



3月議会 居谷の一般質問

2回目の一般質問を行いました。緊張は初回に比べ少なくはなりましたが、まだまだこれからです。

質問内容は次の通りです。

- ①町の情報発信について
- ②ごみの問題について
- ③町営バスについて
- ④学校でのコロナ対策について

①町の情報発信について

居谷：現代は高度なネット社会であり、町の情報発信力は極めて重要になっている。食やスポーツ、観光などポテンシャルが高いにも関わらず、発信力は他の自治体と比べ相対的に低いと感じる。現状の発信力と課題をどう捉えているか。

町長：町のホームページ（以下HP）で情報発信に努めているが十分ではない。特に観光客・移住希望者には一層の改善が必要。HPの大幅な改善を行い、子育て・移住・観光には特設ページを設け、タウンプロモーションを機構改革と共にSNSを通じて強化する。

居谷：新設されたプロモーション戦略室の位置付けと情報センターの関連性は。

町長：戦略室は町の特色を生かした農・食・産業と、様々な分野の担当課と連携し、付加価値を高める企画立案と魅力を、全国に向け広く発信する。併せて町内向けの発信である情報センターとも連携し、情報共有することで相乗効果

を狙っていく。

居谷：テレビのdポータルを活用し京丹波あんしんアプリと連携した情報提供が始まったが、習熟度を高めるための講習会を開催すべきでは。

町長：講習会の開催は考えていないが、電話や訪問での説明など、丁寧な対応をする。

②ごみの問題について

居谷：ごみの集積場所までが遠く、大変だとの声を聞く。地域の実情に応じて増設し、出しやすい環境を整えるべきでは。

町長：要望は区から土地所有者の承諾のもと、担当課に相談して欲しい。

居谷：ビニール用ごみ袋は45リットルしかない。独り暮らしの方からは排出量が少なく、満杯になるまで時間が掛かり不衛生だとの指摘もある。利便

性や衛生面から、30リットル程度の袋を設定すべきでは。

町長：令和2年度の分別方法の変更により排出量は相対的に減少しており、船井衛管に申し入れし、検討を進める。

居谷：ごみ袋や家電・粗大ごみ用シールなど、役場本庁や各支所を取り扱いすべきでは。

町長：販売店の確保や地域経済の活性化という観点から考えていない。

③町営バスについて

居谷：乗務前のアルコール検知点検はどのように行われているのか。

町長：点呼の際、検知機に免許証をかざし呼吸を吹き込むことで測定している。氏名・免許期限・測定日時・アルコール濃度が記載されたシートを保管している。

居谷：町営バスの多くの路線が道の駅を経由・通過している。野菜等の生産物を出荷するためバスの空きスペースを活用し、貨客混載として運行を検討することはできないか。

町長：現在の町営バスはスカール混乗型の運行であり、スペースの確保等、通学時間帯の運行は難しい。また地域の運送事業者・道の駅との協議やダイヤ等、これからの検討課題である。

④学校のコロナ対策について

居谷：現在主流のオミクロン株は、特性から学校での感染拡大防止が地域の感染を止めると言っても過言ではない。学校での具体的な感染拡大防止の取り組みは。

教育長：子供の健康観察と家庭との情報連携が最も重要。基本的な感染対策の強化と、文科省の定める基準に準拠して取組を進めた。

居谷：教職員や学童保育支援員にもクウチの優先接種を行うべきでは。

町長：京都府の大規模接種会場の利用や町の優先接種者とするよう周知した。

居谷：休校や学校閉鎖による学習の遅れが懸念されるが、対応と対策は。

教育長：タブレット端末での家庭学習の準備を進めてきた。学習の保証や学校との連携を一層深化させる。



左の写真は丹波自然運動公園入口付近の満開の桜です。町内にはまだまだ潜在的な魅力あるスポットが一杯！